

令和7年度第3回（第8回）山添村義務教育学校設立推進委員会 概要

令和8年1月26日（月）
18時00分～19時10分
山添村役場 中会議室

1 開会

- ・開会挨拶 委員長 大矢 慎吾

本年度3回目の推進委員会となる。校舎の改修工事も順調に進んでいるようだ。委員の皆さんで何か気になることがあれば、事務局までご連絡いただければと思う。本日の協議もよろしくお願ひする。

※欠席委員（植田委員、岡田委員）

2 協議事項

（1）義務教育学校（山添小中学校）の校章について

事務局	<p>【事務局から資料に沿って説明】</p> <p>○デザイン決定までの経緯</p> <p>→夏休み期間を利用し、やまぞえ小学校児童、山添中学校生徒からデザイン案を募集し、75点の応募があった。</p> <p>→WG（企画広報部）で、美術・デザインに造詣の深い西久保勝康さん（元校長）、福谷英司さん（元校長）、長光宏輔さん（山添村在住のデザイナー）のご協力をいただきながら、作品候補を絞り込んだ。</p> <p>→最終的に3つの候補に絞り、それぞれの案の良い点を掛け合わせ、1つのデザインにした。</p> <p>【山添小中学校の校章（案）】</p> 
井岡委員	<p>【質疑・応答・意見】</p> <p>一見すると「おぼこい」イメージを感じる。</p>
事務局	<p>今はカラーで示しているが、白黒の2色にすると落ち着いて見える。カラーと白黒を使い分けすることも可能だと考える。ただ、学校旗については、カラーを考えている。</p>
徳谷委員	<p>学校旗にする場合、地の色は白なのか。また、ツツジの花弁の中も白色なのか。</p>

事務局	学校旗の地の色について、WGの協議では、村旗が緑地なので学校旗の地の色も緑をベースにしてはどうかという意見でまとまっている。ツツジの花弁の中については白色を考えている。
委員長	校章のデザインは、事務局から提案のあったデザインとして良いか。
各委員	【承認】

(2) 義務教育学校（山添小中学校）の校歌について

事務局	<p>【事務局から報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現状報告 <ul style="list-style-type: none"> →宮下俊也氏（奈良教育大学学長）から作曲（案）を提案していただいた。 →宮下学長から子どもたちを指導する教員の意見も聞きたいとのことで、令和8年1月13日に小学校で音楽科を担当する藤中教諭、中学校で音楽科を担当する向井教諭、両校の校長、宮下学長と意見交換を実施した。 →意見交換を踏まえて、一旦、作曲（案）を持ち帰り、再考されることになった。
川畠委員	<p>【質疑・応答・意見】</p> <p>私も意見交換の場に同席していた。状況も理解できている。事務局からの報告どおりである。</p>
委員長	各委員から特に意見はないようである。このまま進めていただきたい。

(3) 義務教育学校（山添小中学校）の建設工事について

事務局	<p>【事務局から資料に沿って説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○工事のスケジュール <ul style="list-style-type: none"> →校舎本体工事及びネットワーク・電話・I C Tに関する工事と備品等の搬入について、令和8年8月中旬までには完了予定。 →屋内運動場の空調に関する工事を校舎改修工事と同時にできればと考えており、令和8年6月初旬～8月末の工期で実施予定。 →遊具設置工事は、令和8年7月末までに完了予定。 ○小・中学校の移転について <ul style="list-style-type: none"> →工事が予定どおりに完了した場合、8月下旬に小・中学校を義務教育学校校舎に移転させる予定で学校と協議を進めている。
井岡委員	屋内運動場とは、体育館のことか。
事務局	体育館のことである。
川畠委員	小学校から義務教育学校の校舎へ移動する際もボランティア等による引

	越しの手伝いが必要になるのではないか。もし、学校からそのような声があるのであれば、ボランティア募集をしていけば良いか。
事務局	学校図書館の本の整理などで地域ボランティアの皆様には大変お世話をおかげしている。新しい学校図書館に小学校と中学校の本を整理する際は非常に時間と労力が必要になってくることを危惧している。教職員はもちろんであるが、地域ボランティアや保護者の皆様に協力いただければ非常に有難い。
川畠委員	図書担当の教職員と図書ボランティアで連携しながらやっていければと思う。
井岡委員	義務教育学校開校までのスケジュールとして、8月末に「義務教育学校の校舎にやまぞえ小学校と山添中学校を移転させる」とあるが、子どもたちは、令和8年度の2学期から義務教育学校の校舎で授業を受けるということなのか。
事務局	学校と協議をした結果、その方が良いとのことであった。
井岡委員	令和9年4月が義務教育学校開校なので、令和9年3月下旬の引越しになるだろうと思っていたが、引越しの時期を早くするということで良いか。
事務局	学校長と相談の上、そのようなスケジュールを予定している。令和9年3月下旬に引越し作業をすることになれば、教職員の人事異動等もあるので、引越し作業が非常に煩雑になることが予想される。冬休みにあたる時期はどうかと検討したが、中学校3年生の受験を控えた時期に環境を変化させるのは、受験生への負担が非常に大きくなることが危惧された。以上の理由から、令和8年8月下旬に引越し作業をし、令和8年度2学期を義務教育学校校舎でスタートすることが一番良いのではないかという結論になった。
井岡委員	もし、体育館の空調工事が予定より遅れてしまうと、体育館が使えないということになるのではないか。
事務局	その心配はあるが、1カ月以上も遅れることはないと考えている。武道場もあるので、体育等の授業を工夫することで解決できるのではと考える。
川畠委員	地域コーディネーターとして、小・中学校に行かせていただく機会が多いが、初めは小学校と中学校で授業時間帯が異なっていること等の心配があった。しかし、現在の様子を見ていると、小学校と中学校がうまく調整しながら学校生活を送っているようである。今は、義務教育学校開校に向けて様々なことを調整するためにも、1つの校舎で小学校と中学校が一緒に過ごしていることが良かったと感じている。
事務局	小学生が義務教育学校の校舎に移動することは、中学生が小学校校舎に移動した時より影響が大きくなると認識している。小学校の子どもたちには、義務教育学校校舎に少しでも早く慣れてもらうことが大切なのではないか

	と考えている。
徳谷委員	確認だが、令和8年9月に義務教育学校校舎へ小学校と中学校を移転させるが、義務教育学校としての開校は令和9年4月になるという認識で良いのか。
事務局	そのとおりである。令和8年9月からは、法令上、やまぞえ小学校と山添中学校が義務教育学校に改築した校舎の中にあるということになる。また、現在、各学校長とも協議を進めているが、令和8年度の小学校6年生は、やまぞえ小学校最後の卒業生となるものの、令和9年度は義務教育学校7年生になる。教育委員会としては、特に令和8年度の小学校6年生に対しての心の切り替えを含めた取組を大切にしてほしいと学校に伝えている。
井岡委員	義務教育学校校舎が完成した後、お披露目会は予定されているのか。
川畠委員	保護者としては、子どもが過ごす校舎を見ておきたいという気持ちになるのは当然であるように思う。
井岡委員	お披露目会が可能であるなら、ぜひ、お願いしたい。
事務局	事務局内では、お披露目会のようなことが必要かどうかということが話題になっていた。工事完了と引越し作業の予定を勘案しながら検討していく。
委員長	堺委員に伺いたい。小学校の移転にあたってセレモニーのようなことは考えておられるのか。
堺委員	子どもたちに意見を聞きながら考えていきたい。まずは、子どもたちの気持ちを大事にしていきたい。
川畠委員	令和8年度の小学校6年生にとって、小学校の卒業式はあるが、中学校の入学式は無いということになる。子どもたちが改めてがんばっていこうという気持ちになるためにも何か工夫が必要になってくるのではないか。
堺委員	義務教育学校の後期課程が始まるという意味での取組が必要であるとの認識は持っている。ただ、義務教育学校としてスタートした時には、前期課程と後期課程という区切りよりも、前期（1～4年生）・中期（5～7年生）・後期（7～8年生）の区切りが重要になってくるという認識でいる。 しかしながら、転校等をする子どものことを考えると、前期課程を修了したもの（小学校の卒業証書のようなもの）が必要になってくるのではないかとも考えている。

（4）令和8年度ワーキンググループ会議の推進体制について

事務局	【事務局から資料に沿って説明】 ○ワーキンググループ会議の推進体制
-----	--------------------------------------

	<p>→現在は3部会で実施しているワーキンググループ会議を、令和8年度は、より具体的で詳細な教育内容を協議していくため、12部会の体制で推進していく。</p> <p>【質疑・応答・意見】</p> <p>川畠委員 生徒指導部会にスクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）についての内容があり、人権教育部会に不登校支援についての内容が入っている。SCが不登校児童生徒に対するカウンセリングを実施しているが、部会を別々にして協議することになるが大丈夫か。</p> <p>事務局 スクールカウンセラーに不登校児童生徒へのカウンセリングを実施してもらっていることは認識している。ただ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーについては、生徒指導的な分野での役割を担っていただいている。人権教育部会においては、人権教育の視点にたって、どのように不登校児童生徒を学校全体で支えていけるのかということを検討してもらいたいと考えている。それぞれの部会で考えたことは、全体で協議することになるので、各部会が連携しながら進めていくことが重要になってくると考えている。</p> <p>川畠委員 国際理解教育部会を入れていただいているが、現在、地域連携として実施している国際理解教育の取組をイメージしていただいているのか。</p> <p>事務局 そのようなイメージを持っている。現在、学校と地域が連携しながら取組を進めていただいている。より発展的な取組につながっていってくれることを教育委員会としても期待している。</p> <p>川畠委員 地域連携を協議していく部会が入っていないが、地域連携を進めていくことを協議する部署も必要ではないか。</p> <p>事務局 地域連携については、様々な部会に関わることになる。現在、キャリア教育や国際理解教育、図書館教育などで地域連携を進めていただいているが、今後は「やまぞえ学」を協議する研修部会においても地域連携が重要になってくると思われる。ただ、現在も地域学校協働活動については、コミュニティ協議会において協議を行っているので、そのシステムを活用していく方が良いのではないかと考える。</p>
--	--

(5) その他

徳谷委員	義務教育学校開校に向けた校舎改修工事が進められているが、子どもたちに工事している様子を見学するような取組はできないか。
井岡委員	様々な重機などが入り工事が進められている中で安全面は大丈夫か。働いている大人の姿を見るという意味では大事なことであると思うが、親としては、何かあったら怖いと思う。

岡田委員	安全面を考えると、工事が完了してからの方が良いのではないか。
委員長	義務教育学校の校舎にはエレベーターが設置される。子どもたちがエレベーターのボタンを勝手に押したり、乗ったりするようなことを危惧されるが、そのような対策を考えているのか。
事務局	エレベーターが設置されている学校に勤務した経験があるが、エレベーターが設置されている意味を子どもたちがしっかりと理解していたので、心配されているようなことは起らなかった。安全面に関わることでもあるので、子どもたちに対するエレベーター使用への指導は必要になってくるだろう。
井岡委員	徳谷委員からの提案に関わって、工事中の見学は心配なのだが、工事の様子をホームページに掲載してもらうことはできないか。
事務局	工事の様子を山添村のホームページに掲載しているので、ご覧いただけたい。また、次号の「広報やまぞえ」にも掲載予定である。

3 その他

- 本日の協議内容については、次回の教育委員会及び村議会にて報告する。
- 山添村ホームページにおいても情報発信に努めていく。
- 次回の推進委員会は令和8年2月中旬頃に開催を予定。改めて日程調整をお願いする。